

発行：「CSR & コンプライアンス研究フォーラム」 広報委員会
〒 105-0003 東京都港区西新橋 1-14-7 山形ビル3階
TEL 03 (3504) 9800 FAX 03(5157) 3180
E-Mail csm-hq@eco-texj.co.jp
HP : <http://www.eco-texj.co.jp>

2008年
8月5日発行

盛夏の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

研究フォーラム・ニュース 39号を配信させていただきます。

なお、末尾に9月4日木曜・第34回研究フォーラム・セミナーご案内も掲載してありますのでご一読ください。

1. 7月10日木曜に定例の第33回標準研究フォーラムが開催されました。

① <会員企業 CSR事例報告>

株式会社フクイ業務部生産品質管理課・黒田まゆみさんから社歴のご紹介の後、

「CSR & コンプライアンス事例報告」についてご講演をいただきました。

取扱商品には織ネーム、下札など様々な種類があり、これらの特徴とその製品上の役割から、遵守すべき関連法規には、品質表示について「家庭用品品質表示法」「不当景品類及び不当表示防止法」、ブランド表示について商標法が、また装飾・保護を目的とした商品については製造物責任法、容器包装リサイクル法があること。



これらの法令遵守のために、基本的表示ルール社員研修を行い、社内レベルアップを図っていること、またガイドブックを作成しWeb上で取引先に向けても公開し認識と協力を求めていること、また取引先からの注文内容の受け止めミスによる誤表示を無くすためにWeb受発注システム導入を推奨していることなど様々な基礎活動を継続的に実施している様子をお話いただきました。

また自社品質基準を構築し、調達先からの品質保証を得るなど品質管理とその保証体制の構築を図っていることも説明いただきました。

最後に、社員のCSRとコンプライアンスに対する意識の一層の向上と環境問題への取り組みを今後の課題とするとして講演をまとめていただきました。

② <CSR情報「EU市場の動向と対策」>



近藤事務局長は、企業がCSRとコンプライアンスを求められる今日の状況と、これらに対するEU市場の動向と対応について話をされました。このテーマについては次回のフォーラム・セミナーでも引き続き話をされる予定です。

③ <最近のCSR等関連情報>

事務局からCSR関連情報として、「ISO26000 社会的責任の作業部会での様子」、「欧州で再び注目を浴びる児童労働」、「カーボンフットプリント導入」「カーボンオフセット」等、最近の話題になっている記事内容について掲載誌名とともに報告されました。

④ <CSM2000構築「社会的責任分野」について事務局より解説>

CSM2000 社会的責任分野の解説の第二回目が進められました。

2. 第34回標準研究フォーラム・セミナー予定のお知らせ

来る 9月4日(木曜)14時より下記の内容予定で開催します。

<テーマ予定>

(1) 講演

仮題「羊毛工業と環境」 について

ウールマーク・カンパニー アジア開発センター 柴田豊所長にご講演いただきます。

(2) CSRレポート「EU市場の動向と対策」第二回 近藤事務局長
KPI (Key-Performance-Indicator) (重要業績評価指標) 手法への
取り組みへ・・・その実例

(3) CSR関連情報

(4) 「CSM2000構築のすべて」社会的責任分野解説 第三回

懇親会 17:00～

セミナーのご出欠につきしては別途添付の出欠連絡表ファイル等をご利用いただき、8月28日木曜までにご連絡いただけますようお願い申し上げます。

以上